

シノドスのための祈り

Adsumus Sancte Spiritus
(シノドス第2会期 ローマ 2024年10月2-27日)

聖霊よ、わたしたちはあなたの前立ち、あなたのみ名によって集います。わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住まいください。わたしたちに進むべき道を教え、どのように歩めばよいか示してください。弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。無知によって誤った道に引き込まれず、偏見に惑わされないよう導いてください。あなたのうちに一致を見いだすことができますように。わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。

このすべてを、いつどこにおいても働いておられるあなたに願います。御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。アーメン。



すべての人への宣教には、皆で取り組む必要があります。ですから、福音に仕える、ひたすらシノドス的で、宣教的な教会を目指す道を進み続けなければなりません。シノダリティはそれ自体宣教的であり、逆もまたしかりで、宣教は必ずシノドス的です。 教皇フランシスコ 2024年「世界宣教の日」メッセージより

4 「出て、だれでも婚宴に連れてきなさい」

(マタイ 22・9 参照)

Step 4: 主の宴は感謝の祭り

わたしたちは初代教会のキリスト者の宣教熱には終末的な側面が色濃いことを知っています。彼らには福音を告げ知らせることに切迫感がありました。それが「主は近くにおられる」と知る人の喜びと、神の国でわたしたち皆がキリストとともにあずかる婚宴という目的地に向かう人の希望とを携え、福音宣教する助けとなるからです。こうして世が消費主義、利己的な幸福、蓄財、個人主義といった様々な「婚宴」を示す中で、福音はすべての人を、神との、そして人間相互の交わりにおいて喜び、分かち合い、正義、友愛が支配する神の宴へと招いています。

教皇フランシスコ 2024年「世界宣教の日」メッセージより



全世界の福音宣教のために
祈りの旅を続けましょう。
今週は、**アフリカ**大陸で
生きている人々のために祈りましょう。

いつくしみの門、聖マリアよ、アフリカ大陸の諸民族のために祈ります。戦争、暴力、病気、空腹のために苦しんでいる人々を思い起こしてください。人々が自国に住み続けることができ、国の指導者の心を変え、正義を行うことができるようにしてください。アーメン。

THANKSGIVING

福者ホセ・グレゴリオ エルナンデス・シスネロス



今日は、ラテンアメリカのベネズエラに行き、一般信徒であった福者ホセ・グレゴリオ・エルナンデス・シスネロスに会いましょう。彼は1864年に生まれ、信仰を誰よりも母親から教わったと言っています。「母は、わたしが揺りかごにいるときから、徳について教えてくれました。そして、神様についてたくさんのことを、また愛を導き手として頼るようにと教えてくれました」。

ほんとうに愛は、福者ホセ・グレゴリオの存在を導く北極星でした。彼は善良で、性格は陽気、いつも喜んでいました。そして、際立った知性に恵まれ、医師、大学教授、科学者になりました。しかし、何よりもまず、病人、移住者、苦しむ人の中にイエスを見ていました。この世での成功を得ようとしないうちに、人々から「民衆の聖人」、「愛の使徒」、「平和の宣教者」と呼ばれ、今でもそう呼ばれ続けています。

すべての人のためにご自身を祭壇にささげられたイエスに祈るうちに、ホセ・グレゴリオは、自分の人生を平和のためにささげるよう呼ばれていると感じるようになりました。

第一次世界大戦のさなかでした。1919年6月29日、友人が訪ねて来たとき、ホセ・グレゴリオはとても嬉しそうにいました。第一次世界大戦を終結させる条約が調印されたことを知っていたのです。彼の献身は受け入れられ、それは、彼の地上での仕事が終わったことを予見するかのようでした。その日の朝、いつものように、彼はミサに参加し、その後、病人に薬を持って行こうと、通りに出ました。そして、道路を渡っているときに、車にはねられました。病院に搬送された彼は、聖母マリアの名を口にしながら亡くなりました。

彼は、わたしたちに、今日の多くの社会的問題に関わっていくよう励ましています。不満を言わず、批判せず。キリスト者は問題を解決しようとし、手を動かすことが求められています。

教皇フランシスコ 2023年9月13日 一般謁見演説より

主日の福音から黙想のヒント

年間第30主日



「よろしい、あなたの信仰があなたを救った」。
するとたちまち、その人は見えるようになり、
イエスに従った。 (マルコ 10.46-52)

道端に追いやられている兄弟、姉妹の叫びが
イエス様に届きますように。

時々黙って耳を澄ますことも宣教者の仕事。

ともに祈りましょう (共同祈願)

- ☆ 宣教の月の終わりに当たって、この間にいただいた気づきと恵みに感謝します。これから福音宣教の心を日常の中で忘れず、生きる喜びとなりますように。
- ☆ 全人類がキリストの救いと恵みの福音を聞いて信じ、愛の絆で結ばれて神の一つの家族になりますように。

典礼と祈り



宣教のロザリオ

アフリカのためにロザリオ
の一連を唱えましょう

